

市長が行く

今回の能登半島地震対応について

No.155

能登市長 田中豊彦



正月早々に能登半島を襲った地震は、能登半島全体を揺るがす巨大地震でした。

連日報道される惨状に、胸を痛めた方も多かったことと思います。茂原市も度重なる水害に見舞われたこともあり、人ごとではありません。何かできることはないかという焦りを感じながら、また平穏な毎日を送れることは当たり前ではないということ、改めてかみしめた日々でした。

そして、5日の時点で、市内のオートウイルさんのご厚意で、暖房・温水洗浄付きの水洗トイレを搭載したトイレトレーラーを2台派遣できることになりました。そのトイレラーは、茂原七夕まつりでも活躍したもので、1台で延べ2500回分の使用が可能です。現地が使われている非常用のトイレは、簡易トイレのようなもので、寒くて狭くて使いづらく、使用を控え

る人も多かったようで、一番困っていることと思われまし

た。しかし、出発した時点では、道路の状況もよく分からず、一般の車両はまだ通行止めで支援先も決まっています。取った結果、珠洲市へ向かうよう指示がありました。途中かなり道路事情が悪く、パンクして放置された車がたくさんある中、あちこちに亀裂の入った道路をやっと通り、20時間もかかって、やっと到着したそうです。7日14時に1カ所目の設置場所、宝立小中学校に設置し、その後、もう1台は緑丘みどりがおか中学校に設置いたしました。その日の内から

たくさんの避難者に利用されています。これは、オートウイルさんのご厚意（全てボランティア）でできたことで、なかなかできないことだと思います。

先日、オートウイルの飯田社長が一時戻ってこられましたので、現地の様子や、今必要としているものはないかを

確認し、茂原市で備蓄しているウレタンマット（以前、三井化学さんから寄付されたものを含む）エアーマット、消毒液、大喜ガスさんから寄付されたカセットコンロ、ボンベ、合同資源さんから寄付された使い捨てカイロ等を積み、第2便として持つていっ

てもらうことになりました。まだまだいつまで続くかわからない状況ですが、できる限り支援をしていきたいと思っております。茂原市も水害の時には、全国から支援をいただいているのですから。しかしその水害で、市の財政調整基金もかなり目減りしてはいるので、頭を使いながら、皆さんからの寄付が頼りの支援とはなりますが、頑張ります。

令和6年 能登半島地震の被災地を応援しています

災害救援募金を受付中

令和6年1月1日の災害により、被災された方々に対する災害救援募金を、生活課（2階）、防災対策課（4階）、本納支所で受け付けています。

◆受付期間 3月22日（金）まで（土日・休日を除く） ◆送金先 日本赤十字社

被災地での取り組み状況（令和6年1月17日現在）

◆市で実施している支援

- ・市職員3人派遣（うち1人は地域防災マネージャー、防災士、気象予報士資格所持）
- ・市営上茂原住宅2戸、市営山崎住宅1戸を提供
- ・消毒スプレー 24本、消毒液5L×24個
- ・ウレタンマット100枚（一部企業からの寄付を含む）、エアーマット200枚

◆企業から提供を受け実施している支援

- ・トイレトレーラー 2台（暖房・温水洗浄付）
- ・カセットコンロ104台（1箱8台×13箱）
- ・カセットボンベ288本（1箱48本×6箱）
- ・使い捨てカイロ7,890個



問合せ 防災対策課（4階） ☎(36)7580 FAX(20)1602

お知らせ

市では、広報紙の送付を希望される方に無料で郵送しています。メール申込み 秘書広報課（3階） ☎(20)1512 FAX(20)1601

